

授業 1

止まる、見る、聞く

目的

子どもたちが、上手な話の聞き方とはどのようなものかがわかり、それを練習することができるようにする。

到達目標

子どもたちは次のようなことができるようになる：

- 上手な話の聞き方とはどのようなものかがわかる。
- 他人の話聞く練習をする。

準備

- 大きな『聞き方の信号機』（資料5）
- ライフスキル『みんなのれんしゅうちょう』
- その他の準備物はパート4参照

アナは、学級みんなに恐竜のコレクションを見せるつもりでした。けれども、みんな興味がなさそうで、こっちをみてくれません。そこでアナはプラスチックの恐竜をいくつか箱から取り出し、一番凶暴そうなのを選ぶと、それを持ち上げて言いました。「よく聞け！ さもないとたべちゃうぞ！」

聞くスキルを学習するということは、時に大仕事なのです。



単元2 授業1



今日の学習

〈パート1：みつける〉

子どもたちが一斉に勝手な話をしてみて、なぜ誰も他の人が何を言ったか分からなかったのか話し合う。

〈パート2：つなげる〉

『聞き方の信号機』を紹介する。

〈パート3：やってみる〉

みんなで電車になり、『聞き方の信号機』の色に合わせて行動する。

パート1：みつける (10分)



1. 子どもたちに好きなテレビ番組の名前を一斉に言わせる

まず、子どもたちに好きなテレビ番組の一つ思い浮かべ、それができたら手をあげるように言います。全員が手をあげたら、1、2、3と3つ数え、一斉に好きな番組の名前を言わせませす。

留意点!

Cautions!

この活動で重要なことは全員が一斉に話をする状況を作り出すことです。誰も聞き取れないからといって子どもたちに意図的に大声を出させる必要はありません。放っておけば自然に大きな声を出します。

2. さきほどの場面で起きたことについて話し合う

子どもたちに次のように言ってください。

- ◇ 2人の友だちの名前と、その人がどんな番組の名前を言ったか、言える人は手をあげましょう。
- ◇ あなたは友だちの言うことを聞いていましたか？ 友だちはあなたの言うことを聞いていましたか？ (2～3人同じことを聞いてください)
- ◇ みんなが好きなテレビ番組が分かるようにするにはどうしたらよいでしょう。近くの人と話し合ってください (2～3人に話し合ったことを言わせてください)。

パート2：つなげる (10分)



1. 授業の目的を説明する

今日は、話の聞き方と、聞いていることが相手に伝わる方法を見つけることを説明します。

2. 『聞き方の信号機』について説明する

『聞き方の信号機』を見せ「道路にある信号機とよく似ていますが、これは“聞き方の信号機”です」と言い、信

号機の色の意味を説明します。

赤：今していることをすぐにやめ、静かにする

黄：話をする人を見る

青：その人の話を聞く

色を指してその通り行う練習します。各色がどんな意味か何度か確認してください。

留意点！

Cautions!

目を直視することは互いの緊張関係を高めるため、「人を見る」ことを「目を見なさい」ではなく「相手の方を見る」、「話し手の方を向く」と説明してください。また世界には目上の人を直視することは失礼だと考える文化（国）もあることも覚えておきましょう。



パート3: やってみる (15分)

1. 子どもたちを電車ごっこの隊形にする

5人の子どもたちを選び、教室の前で1列に並ばせます。そして2番目から後の子どもに前の人の肩に手を置くように言います。この形を見せた後、残りの子どもたちも5人グループにし、同じように並ばせます。

それぞれのグループは『聞き方の信号機』にしたがって進む電車です。先頭の子どもに手をあげさせ、運転手ですと言います。運転手は“ポーポー”と汽笛を鳴らします。次に、一番後ろの子どもに手をあげさせます。この子たちは車掌です。“発車オーライ”という係です。続いて残りの子どもたちに手をあげさせます。みんなは客車で“ガターン、ゴトーン”と掛け声を出します。



さあ、教室中を電車が音を出しながら走り回ります。でも信号が赤になると、すぐに止まって音も出さないようにします。信号が黄色になったら、話をする先生の方に体を向け、顔を見ます。信号が青になったら、話し手の話をしっかり聞きます。

単元2 授業1

留意点!

Cautions!

交通信号の青は“進め”ですが、『聞き方の信号機』では“聞きはじめなさい”であることを説明してください。

2. 『聞き方の信号機』にしたがって電車ごっこをします。

まず先生が信号機になって、電車を発車させ、色を順番（赤、黄、青）に言います。青信号の後に次のような話をし、その後、それにしたがって行動させます。

- ◇ まあ、なんと電車の動くのが遅いのでしょうか。
- ◇ 窓のそばを電車が通るようにしましょう。
- ◇ おもちゃの電車のように、丸い線路を動くようにしましょう。
- ◇ 全部の電車をつないで一つにしましょう
- ◇ そろそろ駅（席）にもどる時間です

【ふりかえりの質問】

- 『聞き方の信号機』は、話しを上手に聞くのに役立ちましたか？ 意見があれば、手をあげましょう。
- 聞く用意ができているということを、どんなふうにしてあらわしますか。自分がどうしているか、近くの人と話し合ってみましょう。
- 『聞き方の信号機』のおかげで先生の話の聞けましたね。この信号機は、他の人の話を聞くことに役立ちそうですか（何人かを指名する）。

パート4: つかってみる

次の中からいくつかの活動を選び、子どもたちが、授業で学んだことを生活の中で応用するための練習としてやってみましょう。



◆ ライフスキル 『みんなのれんしゅうちょう』

このえをぱっとあかるくしよう

冊子を配布し、全部のページを見る時間を少しとります。そして子どもたちに、いくつかのページは学校でやるが、残りは家でやること、その場合1人でやっても、家族といっしょにやっても良いことを説明してください。

次に最初の活動として表紙に名前を書かせ、表紙の課題を完成させます。続いて4ページを開けさせ、このページには絵が隠されていること、そして数字にしたがって色で塗ると、その隠された絵がわかるようになっていることを説明します。

絵が完成したら、何人かに『聞き方の信号機』が話を聞くことにどう役立つのか発表させてください。そして、これから友だちと話すときには、この聞き方を実際にやってみるように言ってください。



留意点!

Cautions!

ライフスキル『みんなのれんしゅうちょう』は授業4が終わってから、家庭に届けます。

◆図工

聞いて絵を描こう

ペアをつくり、まず、休みの日にやってみたい楽しいことを一人ひとり思い浮かべます。次に交代でそのことを相手に説明します。そのあとで、各自が相手から聞いた楽しいことを絵にします。この活動は先生が『聞き方の信号機』を使い、止まる、見る、聞く の順番で進めてください。また、絵を描くためにはよく話を聞かなければならないことを強調してください。活動の前に見本を見せるようにしましょう。

◆国語

行動の信号機

『聞き方の信号機』の考え方を学級で活用します。たとえば、ある子が話をやめないときに「〇〇君、赤信号だよ」とやさしくいってあげます。あるいは、聞いていない子がいたら「◇◇さん、黄信号ですよ」と言います。また、だれかが話すのをためらっているときは「さあ青信号だよ、はじめよう」のように言ってみてください。

【ふりかえりの質問】

- 今日、信号機にしたがって話を聞いた人は親指を立ててください。
- 「聞いていること」をどうやって相手に伝えましたか。近くに人と話し合ってください。
- なぜ、他の人の話を聞くことが大事なのかその理由を言える人は手をあげましょう（4～5人指名してください）。



単元2 授業1：言葉のしおり & エネジャイザー



聞いているかな？

学級を3グループに分けそれぞれ1、2、3班とします。先生が次の指示をし、各班はその動作をします。

聞いているかな？ 聞こえるかな？

1、2、3班の人、元気に声をだして

1班の人：立って、座って

2班の人：立って

1回まわって

3班の人：立って

床に

手をつけて

全員：はじめのように

座って

2班の人：“手伝って”

って言って

3班の人：“お願いします”って

言って

1班の人：体育座りして

1班の人：1回手をたたいて

2班の人：2回手をたたいて

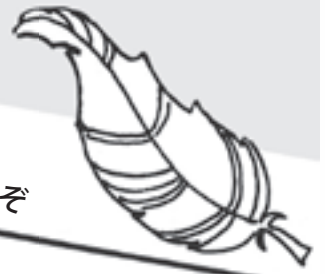
3班の人：3回手をたたいて
なかなかいいじゃない！

みんな聞いて、そのとおりできました。すてきなあ。良い気持ちだね。

最後にみんなで：お辞儀をしましょう。



大男のなぞなぞ



問題：大男に話しかけられたらどうしたらいいでしょう。

答え：だまされないように、いつも辞書を手にして注意して聞きなさい。大男は大きなことを言いますから。

グループで動物歩き



次の詩を模造紙に書いてください。そして子どもたちに話に出てくる動物の動作を説明します。子どもたちは詩を聞きながらできるだけ早くその動作を2、3回行ないます。

〈他の方法〉学級を2～3人のグループに分け、それぞれに話に出てくる動物の役をやらせます。この場合全員で話を読み、それぞれのグループは担当の部分になったときだけ動作をすることにします。

かえるは はねる (飛び跳ねる)

らくだは ゆっくりあるく (重々しく歩く)

みみずは によろによる (全身をねじる)

ウサギは はねる (その場ではねる)

ロバは ぱっかぱっか (両足を踏みならす)

ライオンは のっしのっし (両手両足を床に着け歩く)

子どもたちは あるく (みんなで手をとって輪になって回る)



聞き方信号機

やり方：白い大きな厚紙に絵のような信号機を描いてください。ライトの部分それぞれの色を塗るか、色紙を貼ってください。

